

2023 年度(2024 年 3 月期)通期決算説明会質疑応答 (要旨)

日 時 : 2024 年 5 月 13 日(月) 13:00 – 14:00

【通期業績予想について】

Q : 2024 年度の営業利益増減要因を教えてください。また、原材料高騰はどのくらいを見込むのか？

A : 営業面の努力として増収と付加価値訴求(価格改定)で 100 億円以上、製造面の努力としては 2023 年度の倍程度を考えている。原材料高騰については、原材料に加え外注加工費も高騰し、2023 年度並の影響を見込んでいる

Q : 計測機器の受注残の状況を教えてください

A : 中国の受注高が前年から大きく減少したため、計測機器全体の受注残は約 100 億円程度減少している

【計測機器事業/中国の事業環境・見通しについて】

Q : 中国通期売上高の見通しは？

A : 今年度の見通しは前年度比一桁半ば%のマイナスである。前年度の受注動向や中国市況悪化を考慮した目標値を設定している。一方、政府景気刺激策が発表されており、今年度後半以降の需要回復に期待している

【M&A について】

Q : 最近 M&A の案件が多いが、方針変更があったのか？

A : 2022 年度の旧日水製薬（現島津ダイアグノスティクス）買収をはじめ、成長に必要な投資を積極的に進めている。今後も案件の大小にかかわらず、積極的な成長投資を継続していきたいと考えている

【株主還元について】

Q : 今回初めて自社株買いを行ったが、株主還元方針に変更はあるのか？

A : 中期経営計画期間中の株主還元方針は配当性向 30%以上の維持と継続的な株主還元で、現時点で方針の変更は無い。アセットアロケーションで示した通り、事業で得た利益を成長投資に活用し、会社の成長と株主への還元を同時に進めていきたいと考えている

以上